

# 五條市の学校（園）教育

喫緊の課題  
**学力向上**

## 学校（園）教育が目指す子ども像

～ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる子ども～

## 基本方針

『社会を生き抜く力を養う学校（園）づくり』のために

五條市では、生命の尊厳や人権尊重を基盤とした、いじめや差別のない安心して学べる園・学校づくりを推進しています。その上で、全ての子どもが夢や志をもち、他者と関わりあいながら、生涯にわたって学び続けることができるよう、『生き抜く力』を伸ばしていくことを重視します。

「第4期五條市教育振興基本計画～五條市『夢・志』教育プラン～」や各学校の取組状況等を踏まえ、本年度の重点を次のように策定しました。学校全体で本重点の共通理解を図り、自校の実態を踏まえ、取り組むことが大切です。

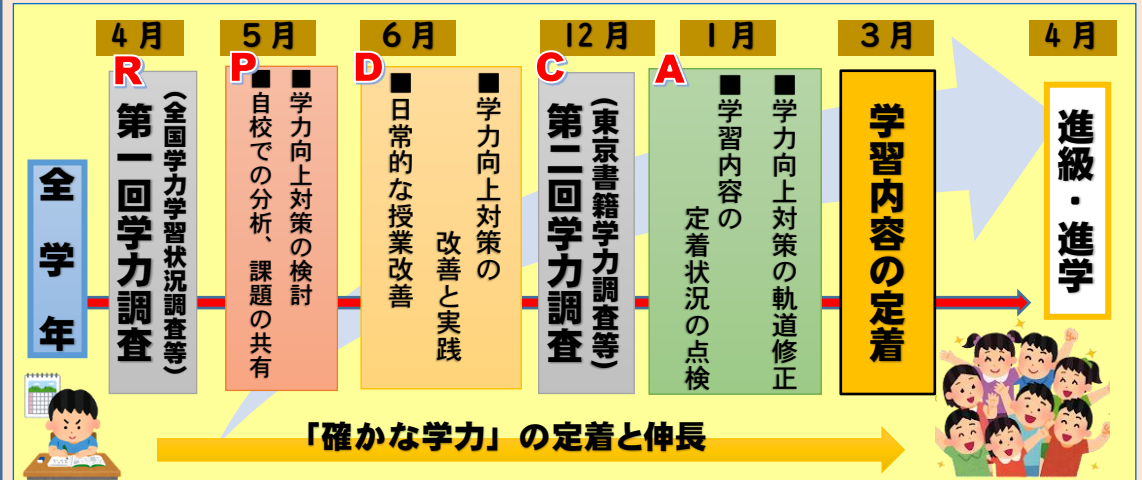
## 重点目標

- ① 0歳から15歳まで一貫した教育方針による取組
- ② 3つの学園構想に基づいた小中一貫教育の推進・充実
- ③ 社会の変化に即した教育環境の充実と実学重視の高等教育の推進
- ④ 主体的・対話的で深い学びの実現
- ⑤ ICTを効果的に活用した学習活動の充実

教育・保育の更なる充実と地域の活性化を図るために、五條市と五條市教育委員会、五條高校、奈良県教育委員会の4者で地域連携の推進に関する協定を結びました。

## 「学力向上PDCA サイクル」の確立に向けて

- I 全国学力・学習状況調査問題、調査結果等を全職員で共有・授業改善**  
全国学力・学習状況調査問題、調査結果等を全職員で共有し、具体的な授業改善や指導計画等へ反映させる。
- II 学力調査、検査等による客観的データに基づいた検証・指導対策**  
学力調査・検査等（4月の全国学テ、12月の東書テスト等）の客観的データに基づき、児童生徒の課題分析、指導の効果等を検証し、実態に即して短期及び中・長期的指導対策を講じる。
- III 「確かな学力」の定着と伸長を図る時間や期間の設定**  
年間指導計画等を工夫して、児童生徒の学力の定着と伸長を図る時間・期間を設定し、当該学年における学習内容を一人一人確実に定着させて進級・進学させる。
- IV 学びの系統性・連続性を重視した小中一貫の推進**  
中部学園、東部学園、西部学園を単位として、各教科等の系統性を踏まえ、共通の目標設定、授業と連動した家庭学習の取組など、学びの連続性を重視した小中一貫を推進する。

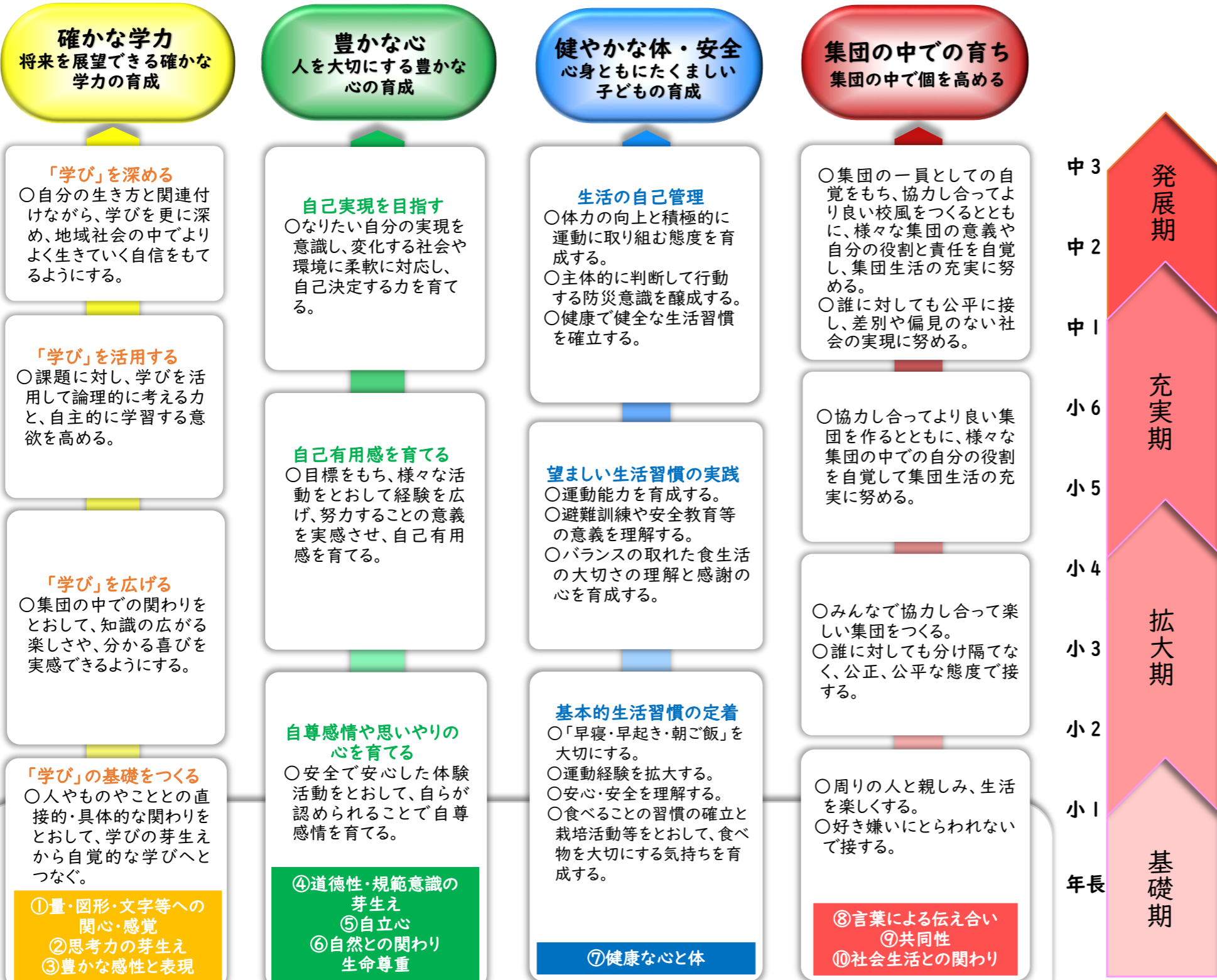


# 社会を生き抜く力を身に付ける

～15歳の目指す姿を求めて～

## 学校・園では

子どもたちは、今後 Society5.0 とされる人類が初めて経験する変化の激しい社会を生きていきます。このような社会を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、自発的に生きる力が求められます。ここでは、子どもたちの成長とともに培いたい力を、こども園、小学校、中学校、家庭とつなぎ、過ごす時期や場所に分けて示しました。私たちは、15歳(中学3年生)の目指す姿を描いて、それに向かって子どもたちともに歩みましょう。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力(①～⑩)」

## 家庭では

◇自分の学習スタイルを確立し、進路を見すえて主体的に学習を進めよう。



◇時間を有効に使い、主体的に学習しよう。  
◇将来の夢を話し合おう。



◇いつ、何をどのように勉強するのか自分で計画を立てて学習しよう。

◇自分から進んで学習できるようにしよう。  
◇読書を楽しもう。  
◇子どもの言葉に耳を傾けよう。



◇決まった時間に机に向かって学習をする習慣を身に付けよう。  
◇家庭での役割をつくろう。

◇基本的な生活習慣を身に付けよう。  
◇絵本に親しもう。  
◇親子でしっかり会話をしよう。  
◇社会の基本的なルールを学ぼう。  
◇充実した遊びや体験に取り組もう。

